

# 令和5年度 第2回 市民ワークショップの概要

## ■実施概要

日時 令和6年2月10日(土曜日) 午後1時～午後4時  
 場所 ひたちなか市役所 第3分庁舎 防災会議室  
 参加者 28名  
 ファシリテーター 筑波大学 図書館情報メディア系 准教授 小泉 公乃 先生

## ■当日の流れ

1. ワークショップを始めるにあたって 《図書館職員より説明》
  - ① 新中央図書館整備事業について
  - ② 前回のワークショップを振り返って
2. テーマ発表 『新しい図書館の間取りを考えよう』
  - ① 参考となる事例の紹介 《図書館職員より紹介》
  - ② 国内外の図書館 100 シーン紹介 《小泉先生より紹介》
3. グループワーク
 

〔Warm Up〕 隣の席の人をインタビューして みんなに紹介しよう！

  - ① コンセプトや空間、設備を考えよう
  - ② 建物の形を考えよう
  - ③ 空間や設備を配置してみよう
  - ④ 完成した間取図を発表しよう
4. おわりに…

## ■当日の様子

1

●ワークショップを始めるにあたって  
 前回のワークショップ冒頭での説明と同様に、これまでの新中央図書館整備事業の進捗について説明をしました。

■整備地が「東石川第4公園」(石川町プール跡地)と決まりました。

■整備基本計画における整備理念は、『まなび・みのり・あそびでまちの未来を拓く図書館』となっています。

■整備基本計画における整備理念に加え、より良い図書館を目指して、右のスライドに示した3つのことをよく検討して、整備を進めたいと考えています。

**基本計画のほかに・・・新中央図書館整備で目指していきたいこと**

①公園内の豊かな緑に囲まれた、恵まれた環境・景観を活かした魅力的な図書館



②図書館利用が少ない世代 = 若者、及び、市の施設に掲げる世代 = 子育て世代やF1層なども利用しやすい図書館

<p>重点プロジェクト1 子育て世代に選ばれるまちづくり</p> <p>●子育て世代のニーズ ●子育て世代のニーズ</p>	<p>重点プロジェクト2 F1層(若者)が住みやすいまちづくり</p> <p>●子育て世代のニーズ ●子育て世代のニーズ</p>	<p>重点プロジェクト3 Uターン先として選ばれるまちづくり</p> <p>●子育て世代のニーズ ●子育て世代のニーズ</p>
---	--	---

③シックプライドを高め、選ばれるまちを目指して... 図書館の整備を通して、または、新しい図書館がシックプライドの達成に貢献

重点プロジェクト4  
シックプライド(市への「誇りや愛着、共感」)を高めるまちづくり

●子育て世代のニーズ  
●子育て世代のニーズ

2

●テーマ発表『新しい図書館の間取りを考えよう』  
 本日のワークショップのテーマは、“新しい図書館の間取り”です。

はじめに、図書館より、事例紹介として、他自治体の公立図書館2か所のフロアマップを参考に、どんな空間や設備が、どのように配置されているのかを紹介しました。

その後、小泉先生より、100枚のスライドを使って、国内外の図書館の魅力的な空間や設備について紹介していただき、参加者みんなで魅力的な空間や設備のイメージを膨らませました。



3

●グループワーク

まず、ウォーミングアップとして、自分の隣の席の人にインタビューをして、その内容を元に、班内の他のメンバーに隣の人を紹介しました。

①コンセプトや空間・設備を考えよう

各自で新しい図書館の具体的なコンセプトや必要な空間、設備を書き出し、その後、班毎にその内容を共有してみました。理想の図書館のイメージは人それぞれで、興味深く互いの意見を聴き合いました。



②建物の形を考えよう

班毎に模造紙に、図書館の建物の形を書き入れました。コンセプトを活かした、個性的な形の図書館も生まれました。

③空間や設備を配置してみよう

具体的な空間や設備を付箋に書き出し、模造紙に書いた図書館の建屋の中に配置しました。同じ班のメンバー同士で、利用しやすさや導線を想像しながら話し合い、工夫して配置を行いました。



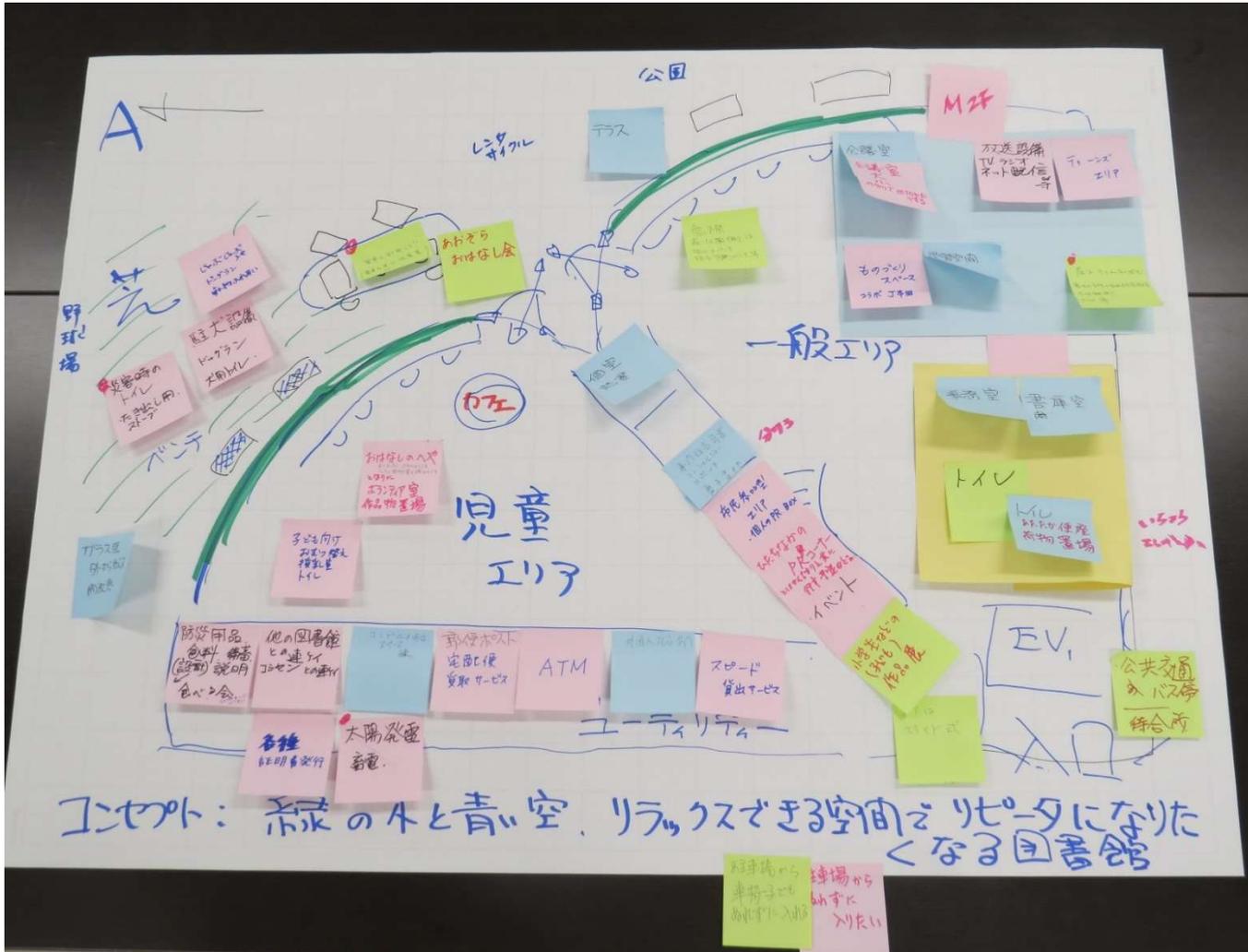
④完成した間取図を発表しよう

まとめた間取図を参加者全員に発表し、アイデアを共有しました。班毎に趣向を凝らした図書館が発表され、それぞれに小泉先生からコメントをいただきました。

4

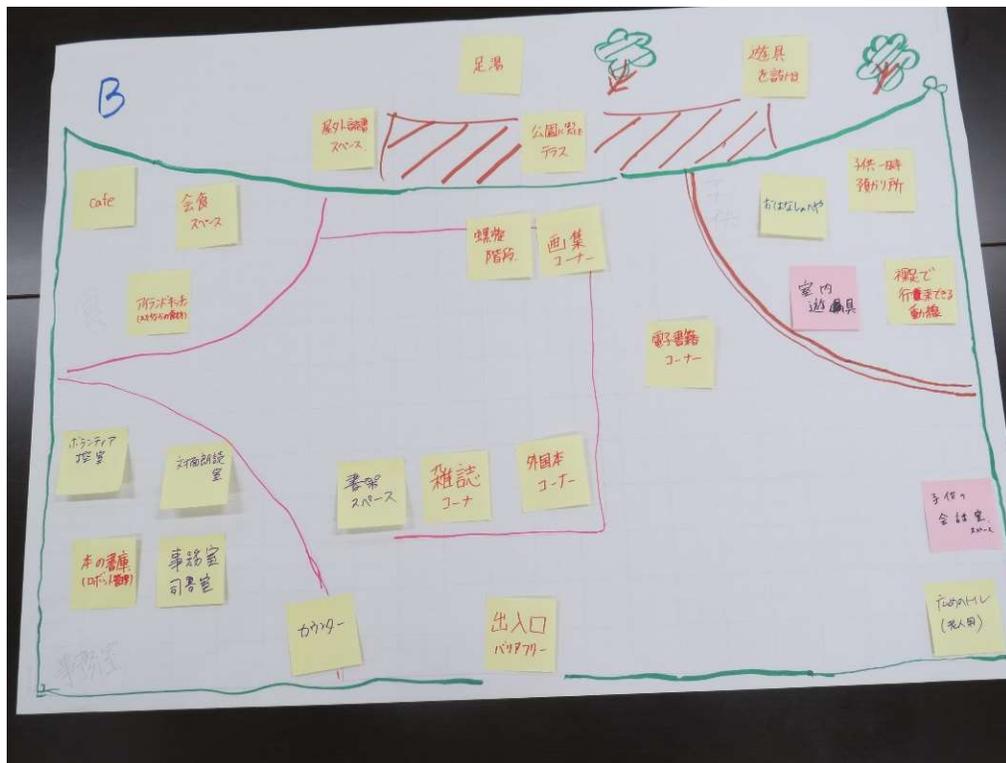
●おわりに…

今回のワークショップを簡単に振り返り、ワークショップが終了となりました。

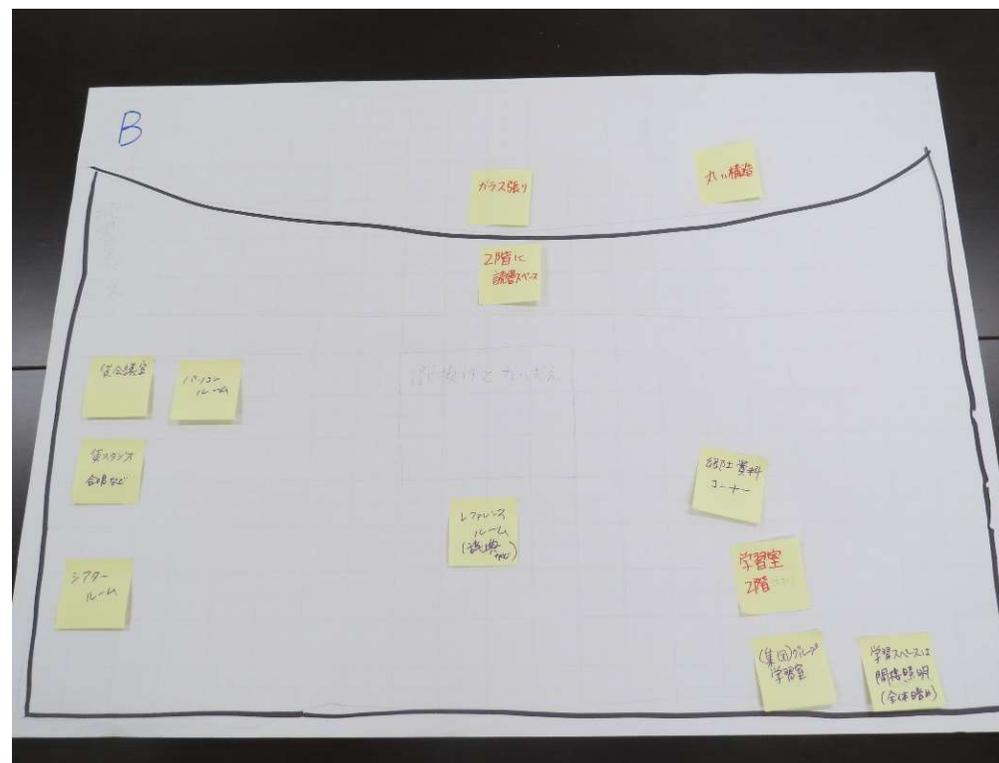


【発表の概要】

- ◆コンセプトは『緑の木と青い空 リラックスできる空間でリピーターになりたくなる図書館』
- ◆市の木「いちよう」の葉の形をイメージにした建屋
- ◆「ひたちなか海浜鉄道の古い車両」や(市内に日立製作所のエレベーター試験塔があるため)「エレベーターのかご」を公園側に配置し、児童向けサービスエリアと接続する
- ◆市民のニーズの多様化に対応するため、郵便ポストや各種証明書の発行窓口、ATMなどのユーティリティエリアを設ける
- ◆災害用のトイレ、二階に太陽光パネル、屋上にテラスを設ける



▲ 1階



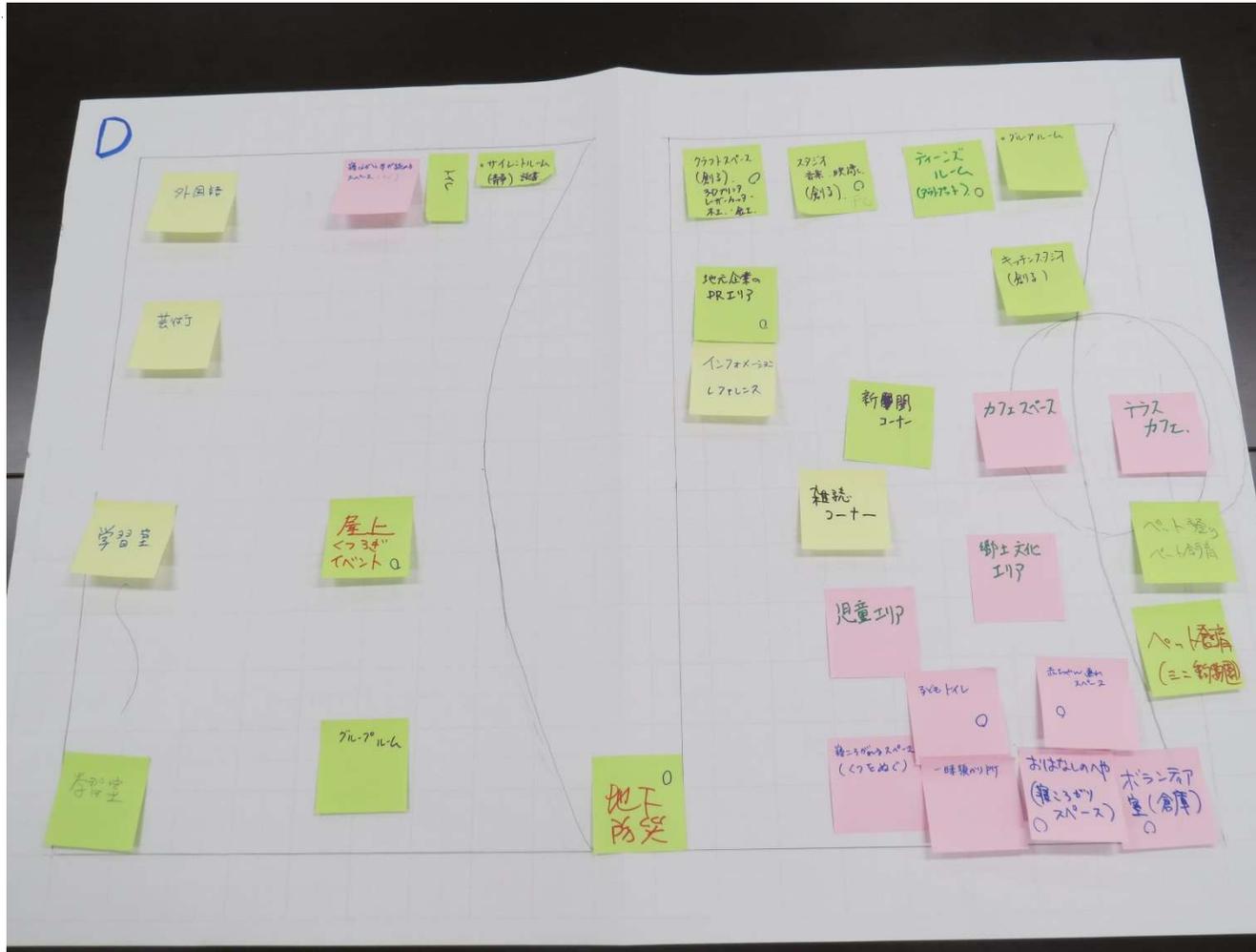
▲ 2階



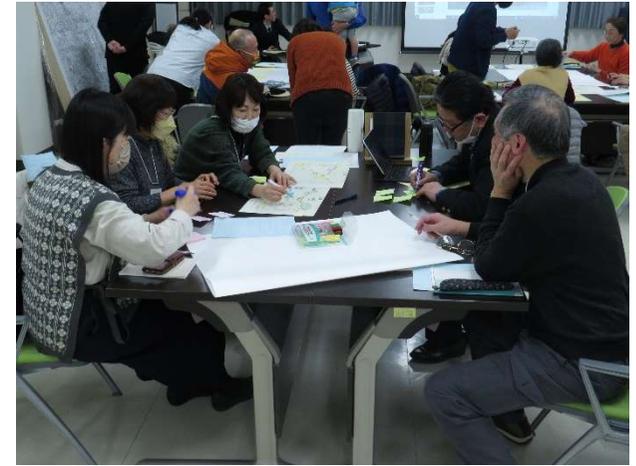
【発表の概要】

- ◆1階は「食」と「子ども」をメインに、ファミリー層をターゲットとしたフロア構成とする
- ◆子ども向けスペースの「室内遊具」や「おはなしのへや」は子どもが裸足で行き来ができるようにする
- ◆2階の環境の良い場所に読書や学習スペースを設ける
- ◆建屋は曲線を多くして、外光を多く取り入れられるようにする
- ◆電子書籍コーナーやテラスに足湯を設ける





※当日の発表を元に、一部抜粋して作成しています



【発表の概要】

- ◆1階に子ども向けエリアを配置し、ボランティア用のスペースも設ける
- ◆モノ作りが出来る創作スペース(3D プリンター、レーザーカッターを備えたクラフトスペースやスタジオ)を設け、モノ作りの街である「ひたちなか市」や地元企業のPRに繋げる
- ◆屋上にイベントもできる「くつろぎスペース」、地下に防災設備を設ける
- ◆ペット関連エリア(ペットの一時預かり所やミニ動物園)を設ける
- ◆2階に学習室やグルーブルームと共にサイレントルームを設ける



▲ 1階



▲ 2階



## 【発表の概要】

- ◆コンセプトは『昔も今もおもしろい バリアフリーひたちなか』
- ◆多目的トイレや対面朗読室、貸出用カートなどを整備する
- ◆車いすやベビーカーで2階に上られるスロープを館内に設ける
- ◆虎塚古墳や馬渡埴輪製作遺跡にあやかり、埴輪のレプリカや郷土資料ギャラリーを設ける
- ◆公園が見える座席や公園側に入出口、子どもから大人までが使える畳の部屋を設ける